

口吉川地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和2年9月16日(水)
午後7時30分～9時05分
- 2 場 所 口吉川町公民館大会議室
- 3 参加者 口吉川地区 14人
市 14人(市長、副市長、副市長、総合政策部長、市民生活部長、産業振興部長、都市整備部長、教育総務部長、企画政策課長、生活環境課長、商工振興課長、農業振興課長、道路河川課長、プロジェクト推進課長)
オブザーバー 4人

4 内 容

- (1) 地区からの意見・提言及び市からの回答

別紙のとおり

- (2) 意見交換

- ア 防災に関する河川整備について

【口吉川地区】

水位計設置箇所に河川監視カメラを設置することはよいが、吉川地区や細川地区にあるのみで、口吉川地区にはない。地域を災害から守るため、県に対し河川監視カメラ設置の要望を続けてほしい。また、河川整備について、竹の伐採により土が崩れる場合があるため、地域に十分な説明をしていただきたい。災害が起きないように市と県で協力していただき、災害が起こるまでは整備しないということではなく、適正に河川整備を進めてほしい。

【都市整備部長】

口吉川地区への河川監視カメラの設置については、しっかり県に要望していきたい。河川については、市全体では距離が長く市では気づかない点もあることから、地域において何かお気づきの点があれば平時からご連絡いただければと思う。竹の伐採については、地域により様々な意見をお聞きするが、伸びたままにしておくと橋脚に引っ掛かりオーバーフローを引き起こす危険があるため、適正な伐採を県に申し入れる。

【市長】

美嚙川水系の整備については、県の平成28年からの5か年計画の中で、渡瀬から整備が進められているが、人家の多い箇所から優先して整備されていることはご理解いただきたい。河川整備は非常に重要なことであるため、県にも強く要望していく。

イ 過疎化対策、小売店の減少について

【口吉川地区】

口吉川地区の課題の一つである地区内に店舗がない点について、行政は地域と協議しながらと言うが、具体的な策が見えてこない。地域ふれあいバスと路線バスの両方を用いた取組についても、乗換えが面倒であり、徐々に利用者も減ってってしまう。民間バス会社との関係から、地域ふれあいバスは地区外まで運行できないという問題もあるほか、宅配や移動販売車という手段もあるが、固定の店舗が地区内に欲しいということが本音である。ニュース等を見ていると、誘致したコンビニを行政が運営する、あるいは事業者が買物弱者のため空白地帯に出店するといった取組も他地域において見受けられる。行政としてこういった支援ができるといった具体的な例を提案してほしい。口吉川地区の課題に対し、市としてどのように考えているのか聞きたい。

【都市整備部長】

地域ふれあいバスについて、細川地区の店舗まで行けるようにできないかという話を以前から伺っており、市としても実現に向け、関係機関と調整しているところである。いつ実現できるかはまだ不透明だが、現在調整に努めているため、協力いただけると幸いである。

【市民生活部長】

店舗がないという問題は、衣食住に関する問題であり、大変ご不便に感じられていることと思う。三木市地域商店活性化補助金制度を開始する際に、市の中小企業サポートセンターの中小企業診断士に市内小売店をすべて訪問していただいたが、客数が少ないため自分の代で閉店するという意見が大半だった。利用者がいなければ店舗は存続しないという現

実を目の当たりにした。志染地区では、無料買い物送迎バスの取組が開始されたが、イベントとして時々参加される方ばかりでは続かない。継続した運行ができるよう市としても支援したい。口吉川地域での協議の際には、ぜひ市の担当者も同席させていただき、どういった支援ができるか、地域と一緒に話し合いたい。

【市長】

コンビニ等小売店の誘致については、ある程度の集客が見込めないと出店を引き受けてくれない。以前、防災公園にコンビニがほしいという意見をいただき、県を通じて誘致を図ったが、採算が合わないという理由で断られたことがある。志染地区で試験運行している無料買い物送迎バスが、口吉川地区で運行できないのかについては、市から改めて確認させていただく。地域とともに歩んでいきたいので今後ともご協力をお願いしたい。

ウ 新型コロナウイルスに対する自治会への通知について

【口吉川地区】

新型コロナウイルスの感染拡大により社会が目まぐるしく変わっていった4月や5月に市から新型コロナウイルスへの対応に係る様々な文書が通知されたが、内容に統一感がなかった。行政全体で一貫性をもって通知していただきたい。市立公民館を用いた会議の開催等、具体的なことを6月時点の文書で案内していただければ、地域に寄り添った文書になっていたのではないかと思う。

【市民生活部長】

具体的な案内をできていなかった点について、言葉足らずだったと非常に反省している。地域の活動を絶やさないよう、今後も支援していくので、ご理解をお願いしたい。

エ 環境対策について

【口吉川地区】

オゾン脱臭装置の設置に加え、できるだけ臭いを外部に漏らさないよう、搬出入の際はこまめにシャッターの開け閉めをする等、対策していただいているが、車1台ごとに開け閉

めを行っており、車がぶつかって3回シャッターを壊している。また、シャッターが開いている間も臭いが漏れないよう、透明のビニールシートを設置していたようだが、1週間程度で取り外された。一応対策は講じていただいているが、しっかりとした対策には至っていない印象が強い。今後とも県と市が一丸となって見張っていただかないと対策は難しい。臭いがすべて無くなるということはできなくとも、可能な限り努力していただくようお願いし続けるしかない。3キロ以上離れていても臭いがするので、近隣の家はかなり臭いが強いことと思う。当該施設がある限りは、市と県で連携して指導していただきたい。

【副市長】

根本的に解決できれば最善だが、いたちごっこのようになっている。私自身、県の担当者のもとに直接出向き、協力を依頼した。県からも様々な面でサポートするという回答をいただいているので、県とともにしっかり指導していく。

オ 市からの回覧物等の発出時期及び用紙サイズについて

【口吉川地区】

市の配布物は原則A4サイズとお聞きしているが、市の外郭団体や公民館等で活動している地域団体からのお知らせ等もサイズを統一してほしい。また、誤った部数を送付してくる部署があるので注意してほしい。

【市民生活部長】

誤った部数を送付している件については即時に対応させていただく。区長への配布物については、市民協働課において取りまとめ、各部署へルールの徹底を図っているところである。また、外郭団体や地域団体については、市の目が届かないことがあるため、各公民館と協力し周知していきたい。

【口吉川地区】

学校の配布物について、A3サイズからA4サイズへの変更はできるのではないか。

【教育総務部長】

各学校についても市と同様にA4サイズで配布するよう周知しているが、再度徹底するよう通知する。

カ 通学路の安全確保について

【ロ吉川地区】

ガードレールのない歩道について、危険を予知できるような、狭い箇所を分かりやすくする方法があれば、対応をお願いしたい。また、県道の草刈りについて素早く対応いただき感謝する。大型車両が多く走行している県道だが、高校生も通っているため、今後ともご対応いただければと思う。

【都市整備部長】

地域でお気づきの点があれば県に申し入れるので、市までご連絡いただきたい。

【ロ吉川地区】

市から今回提案いただいた通学路の迂回については、距離が約300メートルから500メートル延びるため、実現は難しいのではないかと考える。毎日通学する子どものことを考えると、危険箇所については歩道の設置が最善だと思われる。それができないのであれば、通学路であることがドライバーに伝わるような表示をお願いしたい。非常に狭く特に危険な箇所については、地元の業者が下校時刻に道路での見守りを行ってくださっている。県に対しては引き続き要望をお願いしたい。

【都市整備部長】

通学路であることを示す路面標示については可能と考えるので、どういったことができるか相談していく。通学路の安全確保に有効な対応案があれば市にご連絡いただきたい。おっしゃるとおり、歩道が設置されることが最善なので、引き続き要望していく。

【市長】

県道西脇口吉川神戸線の整備については、ほ場整備に合わせて用地を約半分確保していたが、その先の整備に進めていない。市としても引き続き県には要望していくが、県は現在、危険箇所として桃坂の道路整備に着手しているため、一朝一夕には実現できない。道路整備に代わり、通学路の安全確保のため、この案はどうかといった意見があれば、ご提案いただきたい。教育委員会と相談し、可能な限りの対策をとらせていただく。

キ テレビ組合について

【口吉川地区】

口吉川地区のテレビ組合については、設立から相当の年月が経過しており、設備の老朽化が激しく、存続が難しい状況である。口吉川地区と同様、細川地区のテレビ組合も500軒ほどで構成しており、一緒に勉強会等を開催し今後に向けて検討していく予定であるので、市においてもぜひご支援、ご協力をお願いしたい。

【総合政策部長】

テレビ組合については、三木市だけでなく、全国的な問題であると認識している。国において、何らかの支援ができないかと検討している動きがあると聞いているため、市としても情報収集に努め、地域と一緒に検討させていただきたい。

【口吉川地区】

市内のテレビ組合の数は把握しているのか。

【企画政策課長】

既に解散している組合もあるかもしれないが、平成22年度の調査では27カ所あった。規模の大きいところは、500軒を超える口吉川地区と細川地区である。その他については、50軒未満で共聴アンテナを立てているような状況である。

【口吉川地区】

27カ所あるならば、現在存続している組合だけでも集まり、問題点等を情報共有する機会を設けられないかと考えている。小規模な組合も運営に苦慮していることかと思う。各組合の抱えている問題等を知りたいので、市として市内のテレビ組合の情報を取りまとめていただきたい。

【企画政策課長】

小規模な組合については、関西電力の大きな鉄塔による難視聴として関西電力が補償しているものや、NHKが主体で事業を行っているものがあり、今後の運営に困っていない場合が多い。27カ所のうち、廃止等に向けた今後の方針について課題を抱えている団体について、市として情報収集し、集まる機会を設けたいと思う。

【ロ吉川地区】

すべての組合ではなく、ロ吉川地区と同様、難視聴により
区長協議会が主体となって運営されている組合の情報がほ
しい。また、違うケースではあるが、明石海峡大橋のような
橋の支柱により電波障害が起こる地域については、受信につ
いて全額補償されているそうだが、経年劣化による問題も全
額補償されているのか、そういった情報も知りたい。

【総合政策部長】

おそらく補償は続くと思われる。

【市長】

27カ所のうち、何団体になるかは不明だが、市内のテレ
ビ組合が情報共有できる場を設けさせていただく。

ク その他

【ロ吉川地区】

小野市が国の補助金を活用し、地元の中小企業等の商業振
興策として市民1人につき1万円を配布することとしている。
三木市は何か計画しているのか。

【産業振興部長】

コロナ禍により影響を受けた中小企業への支援としては、
はじめに三木市中小企業事業継続支援給付金による給付を
行っており、現在は三木市中小企業等家賃支援給付金におい
て家賃の補助を行っている。これは飲食店も併せた地元企業
への支援である。また、市民への支援としては、9月から開
始したマイナポイント事業において、国の25%還元に乗
せし、市独自でさらに25%還元することで、消費額の5
0%を還元する支援を行っている。さらに、1万円で1万2,
000円分の商品券が購入できるプレミアム商品券につい
ても、9月25日まで申し込みの募集を行っている。10月
1日からは、道の駅みきと山田錦の館において、1,000円
購入ごとに200円のおみやげ購入券がもらえる事業が始
まる。市民の消費や地元商店を支援する施策を進めているの
で、引き続き広報みきや市ホームページにより周知していく。